

質 問

井上町政2期目の 取り組みの考えは

若月忠男 議員

町長 丁寧な町政運営を心がける



4 川

問 2期目の町政運営にあたっての重点課題についての考えは。

答 まず、基本的な姿勢として、「私」をなくしてより謙虚に、「より丁寧」に、町民の皆さんの声を聞きながら、より丁寧な町政運営を心がけたい。

課題は、合併算定替期間が10年過ぎ、普通交付税も約6億減額されることを踏まえ、健全財政に配慮しつつ、町民の皆さんの参画を得て策定した総合計画に基づき、地域資源を生かした産業振興はもとより、少子化対策

や定住人口を増やすためのU・I・ターン事業などの各種施策を積極的に進めたい。何よりも少子化対策を重点点として取り組みたい。

問 さくらおろち湖マラソン大会(仮称)開催についての考えは。

答 おろち湖周辺のマラソン大会は、ぜひ実現をしたい。

開催に向けての、豊南市との連携等についても、豊南市や西教育委員会、さらには島根県陸協、これからの関係団体と協議を重ねまして、実現に向けての合意形成を図ってまいりたい。

問 開催に当たっての課題は。

答 コースとりが一番の課題になると考えていますが、そのほかにも選手

の安全上の問題、道路の交通規制の問題等ありますが、何よりも、お迎えをする地元の方がボランティアでお迎えできるような体制づくりも一番の課題であると考えています。

問 マラソン大会の開催については早急に実現できるような考えは。

答 ぜひ実現したい。

問 たたらば香番地から三次間にある道の駅に奥出雲町の観光パンフレットや、町勢要覧等の観光に繋がる資料コーナーの設置対応の考えは。

答 道の駅たたらば香番地には、県や山陰地方の観光情報を提供するためのラックが設置されており、各種パンフレットやイベント等の案内チラシ等を置いて、PRに努めている。

また、高野インターチェンジの道の駅につきましても、同様に町の情報パンフレット等が設置してあります。このたびは、修正予算をお願いしている。

奥出雲町の観光協会の事業として、町全体の観光案内板も見やすいところにぜひ設置していただくよう、協力を要請したい。

インターチェンジがない町になったが、近くのインターチェンジから奥

出雲町に多くの人に来ていただけるような取り組みは最大限やっていかなければならない課題と思う。

問 人材育成支援の対策と、観光振興についての内容についての考えは。

答 地域コミュニティづくりと人材育成が一番大事と考える。そのための具体的な施策については、町民・議員の皆さんからの積極的な提案なり提言を求めたい。

問 源流にかかわる観光マップも必要ではないか。

答 我が地域は1500年、先人たちが営々と守り続けてきた地域であり、みんな頑張ればいるんな可能性がある、大変ポテンシャルの高い地域であり最大限の努力をする。

